

看護学科における想定される連携概要

本学看護学科では、公益財団法人ときわ会との連携協定に基づき、教育・研究・人材育成の三つの柱から看護の質向上と地域医療への貢献を目指します。院内研修への講師派遣や看護現場に根ざした共同研究の推進、さらに現職者による授業協力や大学院進学支援を通じて、臨床と教育および研究が相互に発展する体制を整え、地域に貢献できる看護専門職の育成を進めてまいります。

教育・研修に関する連携：院内研修への講師派遣

看護倫理、チーム医療、メンタルヘルス、終末期ケアなどをテーマとした院内研修に、看護学科教員が講師として参画し、看護職の専門的知識と実践力の向上を支援します。

研究・実践活動に関する連携：看護現場の課題に基づく共同研究

看護師の患者・家族支援、QOL向上、メンタルヘルスなど、現場の課題に即した共同研究を推進し、実践と研究の循環を図ります。

人材育成・キャリア支援：大学院進学支援と授業協力

病院職員の大学院進学を促進するため、授業料減免制度の活用や学修支援体制を整備します。また、現職の看護師や専門看護師を大学の授業にゲストスピーカーとして招聘し、実践知に基づく講義を通じて学生の学びを深化させます。